（様式－1）

再発防止対策報告書

四国支部

発生日時	令和 5年 2月 9日（木曜日） 15時 00分							天候	晴れ	
災害の程度	死亡 名		負傷 1名		職種 現場副代人		年令 54才		経験年数 35年	
工事の種類	調査測量	伐採	運搬	仮設	基礎	組立	足場	架線	撤去	その他
災害の種類	墜落・転落	転倒	物の飛来・落下	崩壊・倒壊	はさまれ・巻き込まれ	切れ・こすれ	感電	その他		
原因	作業準備の不良	作業方法の不良	工具防具の不良	電気工作物の不良	作業者の過失	共同作業者の過失	その他			

災害の状況

【件　　名】架線作業中の弛度観測のため、鉄塔上を移動中に足を滑らせ小墜落し、負傷

【作業内容】架線作業中の弛度観測

【作業経過】

7：00頃　被災者甲は、現場事務所で当日の架線作業の内容について全体ミーティングを実施後、乙・丙とともに３名で現場（６万V Ｓ線 No.37鉄塔）に到着し、ＴＢＭ-ＫＹを行った。

8：30頃　架線作業を開始し、地上（甲・乙）および塔上（丙）で延線状況を監視。（当該鉄塔では延線状況の監視、弛度観測を行っていた）

11：40頃　旧線引抜撤去作業を終え、午前中の作業を終了した。

12：40頃　午後の作業の打合せを実施後、ワイヤ移線の状況確認のため、甲は昇塔開始した。

15：00頃　甲は、ワイヤ他の弛度を観測するため、鉄塔上部から下部の観測器の位置へ移動中、足を滑らせ小墜落し、安全ロープに宙吊りとなった。

15：30頃　甲は自力で鉄塔から降塔・歩行した後、現場代理人が運転する車で病院へ移動した。

18：00頃　病院にて下記診断を受けた。

【被災の程度】　左肩鎖関節脱臼、頚椎捻挫、左上腕打撲挫創、左中小指擦過傷（休業見込み：1ヶ月程度）

【被災者の服装、装備】　作業服、安全靴、安全帽、作業用手袋、フルハーネス型墜落制止用器具

【災害発生状況】　災害概要図（様式-２）のとおり

原因及び対策

【原　因】

今回の災害は、弛度観測のため５ｍのキーロック方式安全ロープ（以下、移動ロープという）を使用し、観測器の下部まで移動しようとしたが、観測器が移動時の支障となり、それを避けようとして墜落し、負傷した。

墜落・負傷の原因および問題点は、墜落制止用器具を適切に使用していたものの、

○移動ルート上に観測器があり、回避行動が必要となったが、ワークポジショニング用ロープ等を併用しなかった。

○弛度観測は比較的移動範囲が限定でき、３ｍの移動ロープで行動可能であったが、当該鉄塔に配置済みの５ｍの移動ロープを使用したため、落下距離が大きくなった。

【再発防止対策】

○ワークポジショニング用ロープ等の併用
移動ロープを使って移動する時に、移動ルート上に障害物がある場合や足元が不安定な個所などでは、ワークポジショニング用ロープ等を併用する。

○適切な長さの移動ロープの選定・配置
移動ロープを使用する作業については、作業内容に応じた適切な長さの（落下距離を抑制できる）移動ロープを選定し、配置する。

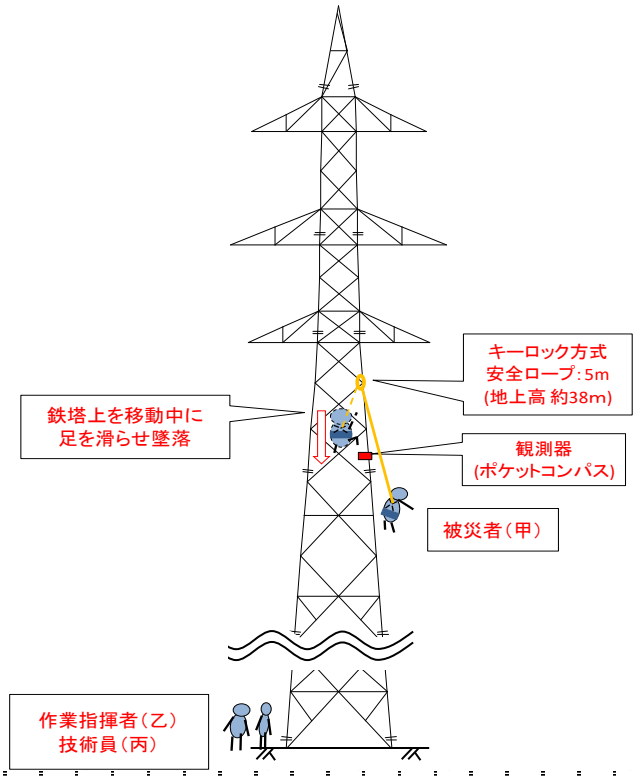
○教育の実施と現場パトロール
上記事項について、作業従事者を対象に教育を実施するとともに、移動ロープ配置図に基づいた配置状況等を現場パトロールで確認する。

以　上

（様式－2）

災　害　概　要　図

【災害発生場所の詳細図】

・現場写真

・墜落状況（イメージ）